

令和5年度 新潟県災害支援ナース養成研修 開催要項

1 研修の目的

災害や新型コロナなどの新興感染症等の発生に際して、都道府県において迅速に看護職等の確保を図るため、他の医療機関等への応援派遣に的確に対応できる看護職を養成する。

2 研修の目標

- 1) 災害・感染症等に関する基礎知識技術を習得する。
- 2) 応援派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する。

【災害】

- 1) 看護職として必要な災害医療の基礎知識を習得する。
- 2) 災害時の看護職役割と活動実際を理解する。
- 3) 看護職として、被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する。
- 4) 災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する。

【感染症】

- 1) 新型コロナなど新興感染症に関する基礎的知識を習得する。
- 2) 新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する。
- 3) 酸素療法、集中治療管理に関する基本知識を習得する。
- 4) 新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基本知識を習得する。

2 主催

公益社団法人新潟県看護協会

3 対象者

災害及び新興感染症の発生時に他の医療機関等に応援派遣されて、災害支援看護業務及び新興感染症支援看護業務に従事することを目指す者とする。

4 開催・受講方法

オンデマンド研修（4日間）および集合研修（2日間）にて実施する。

（1）オンデマンド研修（e-ラーニング配信）

・時間数

講義（オンデマンド）20時間（4日間）

総論2時間（120分）/災害各論9時間（540分）/感染症各論9時間（540分）

- ・受講決定者は日本看護協会提供のe-ラーニング配信により受講する。
- ・勤務先または自宅等で各自のパソコンを使用して受講してください。

(2) 集合研修（演習）

- ・時間数

演習（集合研修）10 時間（2 日間）

講義 1 時間（60 分）/災害 4 時間 30 分（270 分）/感染症 4 時間 30 分（270 分）

- ・オンデマンド研修全てを受講した者および一部受講免除対象者の受講修了者が、演習指導者による集合研修を受講することができます。

研修会場：新潟県看護協会研修センター（新潟市中央区川岸町 2-11）

(3) 養成研修の一部受講免除（希望があれば、免除部分の受講も可能です）

【災害支援看護業務に関する事項に係るオンデマンド研修受講の免除】

①既に新潟県看護協会に災害支援ナースとして登録されている者

- ・旧災害支援ナースの研修又は訓練に毎年参加している者
- ・直近に受講した旧災害支援ナースに係る研修の受講から 5 年を経過していない者

【新興感染症支援看護業務に関する事項に係るオンデマンド研修受講の免除】

②令和 4 年度新型コロナウイルス感染症対応研修のうち「重症者対応研修」を修了した者

5 開催日及び定員

(1) オンデマンド研修（e-ラーニング配信）

- ・令和 5 年 10 月 1 日～31 日の間に 4 日間の研修を受講する。

(2) 集合研修（演習）2 日間

- ・災害演習 令和 5 年 11 月 16 日（木）午前 9 時 00 分から午後 4 時 30 分まで
- ・感染症演習 令和 5 年 11 月 17 日（金）午前 9 時 30 分から午後 3 時 40 分まで

(3) 定員 30 名

6 研修内容

「別紙 1 オンデマンド研修プログラム」、「別紙 2 集合研修プログラム」を参照

7 受講料 無料

8 申し込み方法

(1) 申し込み期間

令和 5 年 9 月 1 日（金）から 9 月 15 日（金）まで

(2) 方法

- ア 新潟県看護協会ホームページの「教育研修検索システム」の申し込みフォームに必要事項を記入して申し込みをしてください。
- イ 締切り日から 10 日以内に受講者には受講決定の連絡とともに、e-ラーニング受講に必要な書類を郵送にて送付します。

9 オンデマンド研修受講時の参加手順及び注意事項

- ・受講決定後、本会から送付された e-ラーニング受講に関する提出書類に必要事項を記入の上、必ず、記載のアドレスからデータを送信してください。(本会から、日本看護協会に e-ラーニングシステム受講者登録を行うため、正確なアドレスが必要です。)
- ・後日、日本看護協会より、登録したメールアドレスに e-ラーニング配信の ID が送付されます。
- ・郵送した「災害支援ナース養成研修 eden LMS 利用ガイド (受講者)」を確認して、オンデマンド研修を受講してください。

10 修了証の授与

オンデマンド研修 20 時間 (一部受講免除内容含む) の終了と演習 10 時間をすべて終了したのに対し、修了証を授与します。

11 その他

- ア 必ず新潟県看護協会ホームページ「オンライン研修ガイド」をご確認下さい。
- イ 受講にかかるデータ通信量および資料等の印刷にかかる経費は受講者負担とします。
- ウ ご不明な点は、下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：新潟県看護協会 教育研修課 立川

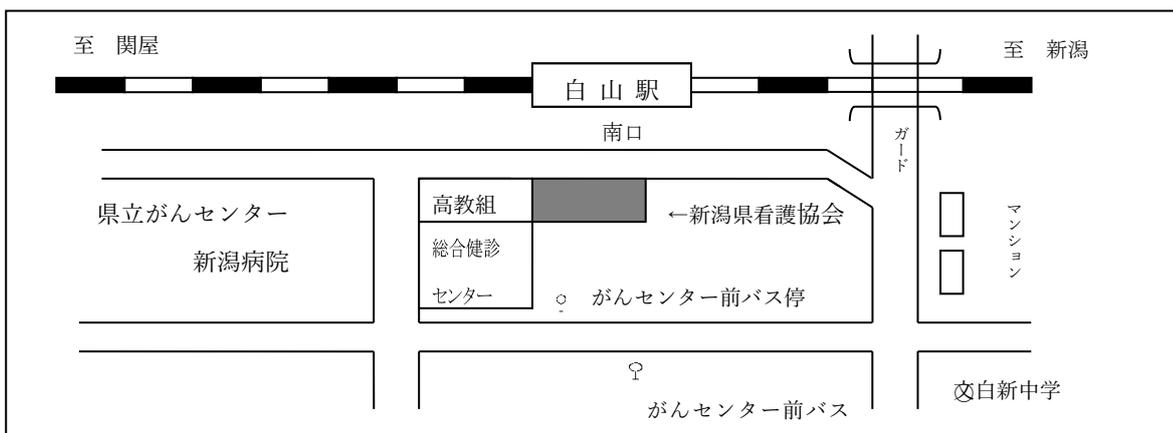
Tel : 025-265-1344

○集合研修 (演習) 会場

新潟県看護研修センター

新潟市中央区川岸町 2 - 11 Tel : 025-265-1225

○【会場までのアクセス】 ※ JR：新潟駅より越後線で白山駅下車 南口出てすぐ



【別紙1 オンデマンド研修（eラーニング配信）プログラム】

新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業
災害支援ナース養成研修 プログラム

研修目的	<p>1.災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する。</p> <p>2.応援派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する。</p> <p>【災害】</p> <p>1.看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する。</p> <p>2.災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する。</p> <p>3.看護職として、被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する。</p> <p>4.災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する。</p> <p>【感染症】</p> <p>1.新型コロナなど新興感染症に関する基礎的知識を習得する。</p> <p>2.新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する。</p> <p>3.酸素療法、集中治療管理に関する基本知識を習得する。</p> <p>4.新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基本知識を習得する。</p>
対象	<p>災害・感染症に係る応援派遣対応看護職員を目指す者</p> <p>※所属の医療機関において、災害・感染症支援ナースとして配置される予定の者を優先</p>
研修時間	<p>講義(オンデマンド):総論 120分/各論(災害)540分 + (感染症)540分</p> <p>演習(集合研修):講義 60分/各論(災害)270分 + (感染症)270分</p>

講義(オンデマンド)

章	単元/主な内容	講師(所属等) ※敬称略	視聴時間
1	<p>【総論】</p> <p>災害・感染症に係る応援派遣の対応</p> <p>1. 本研修の目的</p> <p>2. 災害・感染症に係る看護職員等の応援派遣体制について</p> <p>3. 災害・感染症に係る看護職員等の養成について</p> <p>4. 災害支援ナースの役割</p>	<p>鎌田 久美子 (前 公益社団法人日本看護協会 常任理事)</p>	120分
2	<p>【災害各論】</p> <p>災害医療の基礎知識</p> <p>1.災害とは</p> <p>2.わが国の災害医療体制</p>	<p>小井土 雄一 (独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局長)</p>	180分
3	<p>災害時に求められる看護支援活動</p> <p>1.災害看護とは</p> <p>2.災害時保健医療福祉活動における看護</p> <p>3.災害の場に応じた看護支援活動</p> <p>4.災害時要配慮者の特徴と看護</p>	<p>石井 美恵子 (国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 教授)</p>	150分
4	<p>災害時の感染対策</p> <p>1.災害時に注意すべき感染症とその要因</p> <p>2.避難所における感染症のリスクアセスメントの考え方</p> <p>3.避難所における感染症対策の例(複合災害時の対応等を含む)</p>	<p>山本 由紀子 (地方独立行政法人市立秋田総合病院 感染管理室 感染管理認定看護師)</p>	60分
5	<p>災害時の心理的变化とこころのケア</p> <p>1.被災者に生じやすい心理的問題</p> <p>2.被災者に接する際の基本的留意点</p> <p>3.わが国の災害精神保健医療体制(DPAT 含む)</p> <p>4.支援者の惨事ストレスとケア</p>	<p>河嶌 譲 (独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局)</p>	90分
6	<p>災害時の看護職の活動事例</p> <p>1.派遣された看護職の活動事例</p> <p>2.活動場所で直面する様々な状況</p>	<p>岡崎 敦子 (独立行政法人国立病院機構災害医療センター 災害看護専門看護師)</p>	60分
-	確認テスト	10問	-

章	単元／主な内容	講師(所属等) ※敬称略	視聴時間
7	【感染症各論】 新型コロナなど新興感染症の基礎知識 1.新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保 2.新興感染症/パンデミック	大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター国際感染症センター長 感染症内科医長)	60分
8	新型コロナなど新興感染症の基礎知識 1.感染拡大・重症化を防ぐ技術の提供に必要な知識 ・手指衛生 ・PPE(個人防衛具)の種類や着脱等 ・ゾーニング ・環境整備・廃棄物・寝具・食器の取り扱い ・死亡時の対応など 2.院内感染発生時の初期対応・クラスター発生予防の対策	美島 路恵 (東京慈恵会医科大学附属病院 感染対策部 感染管理認定看護師)	60分
9	新型コロナなど新興感染症患者の治療と観察ポイント(軽～中等症)	小倉 高志 (神奈川県立循環器呼吸器病センター所長)	60分
10	新型コロナなど新興感染症患者の看護(軽～中等症) (医療機関と在宅・宿泊療養を含める) 1.重症化予防のための患者評価と対応 ・異常の早期発見 ・重症化予防 ・緊急性の判断と急変対応 ・医療機関と在宅・宿泊療養での対応の特徴 ・患者家族への精神的ケア 看護師自身のケア	杉本 環 (日本看護協会認定看護師教育課程 救急看護認定看護師)	60分
	2.重症化予防のための患者評価と対応(軽～中等症) ・酸素療法 ・呼吸理学療法 ・体力の消耗を最小限にするための患者への生活指導	富阪 幸子 (日本看護協会認定看護師教育課程 クリティカルケア認定看護師)	60分
11	新型コロナなど新興感染症患者の集中治療管理(重症)	則末 泰博 (東京ベイ・浦安市川医療センター救急集中治療科・集中治療部門部長・呼吸器内科部長)	60分
12	新型コロナなど新興感染症患者の看護(重症) 1.生命維持装置の管理 ・ネーザルハイフロー ・人工呼吸器 ・ECMO ・血液浄化療法(CHDF)	三木 隆弘 (日本大学病院 臨床工学室)	60分
	2.人工呼吸器管理、ECMO 管理における看護 ・重症患者管理の基本 ・人工呼吸器管理中の合併症予防 ・ECMO 管理における看護	濱本 実也 (公立陶生病院 集中ケア認定看護師)	60分
	3.重症患者家族への精神的なケア ・隔離による不安 ・意思決定支援 ・看取り、死亡時の対応等	立野 淳子 (小倉記念病院 ケアマネジメント課 課長 急性・重症患者看護専門看護師)	60分
-	確認テスト	10問	

*1:体外式膜型人工肺(ECMO)、持続緩徐式血液濾過透析(CHDF)

【別紙2 集合研修（演習）プログラム】

1日目：令和5年11月16日（木）

【演習：講義】

時間	内容	ねらい
9:00～9:05	あいさつ 新潟県看護協会 常務理事 青柳 玲子	
9:05～9:55	【講義】「新潟県における災害・感染症にかかる 応援派遣・医療提供体制の状況や対策 （仮）」 新潟県福祉保健部地域医療政策課 医師 羽入晋太郎 氏 【講義】「新潟県看護協会における災害・感染症 にかかる応援派遣時の看護支援活動 （仮）」 新潟県看護協会	・災害時および感 染症の発生・まん 延時の看護職活動 の実際を想定する ことができる。
9:55～10:10	【講義】「災害支援ナースとしての心構え ～受援者・支援者間に生じやすい役割 期待のずれ、応援派遣の際の心構え～」	・受援者や支援者 が相互協力するた めに必要な知識を 学ぶ。

【演習（災害）】災害時の看護職の活動の実際

時間	内容	ねらい
10:10～10:15	オリエンテーション	
10:15～10:25	【GW】「チームビルディング（自己紹介、目的 の共有）」	・災害時の看護職 の活動の実際を想 定することができる。
10:25～11:10	（状況付与1 災害発生） 【GW】「1 派遣決定から出発までの準備」 Q1 派遣決定までの調整と準備 Q2 派遣決定から出発までの準備①② Q3 携行品 （状況付与2 派遣決定）	・災害時に看護職 として活動する際 の基本的な心構え がわかる。
11:10～11:25	【講義】「2 支援者としての心構え ～被災者の尊厳、基本的な心構え、被 災者の心理的反応の時間経過、支援す る側の心理～」	・災害時の看護職 の活動の展開と展 開にあたっての留 意事項がわかる。

11:25~12:15	【講義】「3 活動場所の違いによる活動の特徴」 a. 医療機関での活動の特徴 b. 避難所での活動の特徴	
12:15~13:15	休憩	
13:15~13:30	【GW】「食べてみよう防災食」感想の共有	
13:30~14:15	【講義】「4 C S C A (T T T)」 【GW】 Q4 活動の原則 Q5 安全管理 (状況付与3活動場所へ到着)	・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる。
14:15~16:15	【講義】「5 方針に沿った活動」 (状況付与4避難所での活動)	・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる。 ・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる。
	【GW】 Q6 救急搬送や発熱者等の対応	
	【GW】 Q7 新たな活動を依頼されたら (状況付与5活動報告書の作成)	
	【講義】「支援者のストレス」 【GW】 Q8 記録と報告 Q9 活動終了に向けて Q10 帰還後に行うこと	
16:15~16:30	・感想・まとめ 2日目の研修の連絡	

2日目：令和5年11月17日（金）

【演習（感染症）】新型コロナなど新興感染症患者の看護

時間	内容	ねらい
9:30~9:40	オリエンテーション	
9:40~10:40	【講義・実技】 感染拡大・重症化の予防 ・PPEとゾーニング	医療機関、療養施設、高齢者施設、避難所、自宅など施設ごとの違いや特徴を踏まえた標準予防策およびゾーニングの基礎を学ぶ

10:40～10:50	休憩	
10:50～11:50	【講義・実技】 安楽な呼吸の保持 ・体位ドレナージ、ポジショニングについて	感染予防策（PPEを装着）を実施したうえで、安楽な呼吸へのケアや日常援助を体験的に学ぶ
11:50～12:50	昼休憩	
12:50～13:50	【GW】 集中治療室内での集中治療管理 ・事例を用いた管理	集中治療室で 사용되는医療機器及び生じやすいトラブルについての基礎的な知識を学ぶ
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:30	【GW】 多職種連携による医療提供 ・派遣先でのコミュニケーションスキル	派遣先の医療機関等における指揮命令系統や各専門職が担う役割を理解し行動ができる
14:30～15:00	【GW】 患者・家族へのケアと看取り ・事例を通じた対応を考える	応援派遣の際に生じる事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を理解する
15:0～15:30	まとめ	
15:3～15:40	事務連絡	